

# 資料 6

## 講義 3

### 事例検討の導き方 2

#### ～症状評価表作成～

# 症状評価表作成

## ●症状を疾患別に評価してみよう！

慢性頭痛診療ガイドラインなどを基に症状重篤度を評価する⇒3点満点の点数化 3点:強 2点:中 1点:低 0点:無

問診項目・症状(診断基準)	片頭痛 (前兆+)	片頭痛 (前兆-)	群発 頭痛	緊張型 頭痛	受診 勧奨
<b>どのような痛み方をしますか？</b>					
心臓の鼓動のようにズキンズキンとする	3	3	0	0	3
頭のまわりにベルトを巻いたような圧迫感や圧力がある	0	0	0	3	3
電気ショックの様に刺すような、えぐられるような鋭い痛み	0	0	3	0	3
ひどくて何もできない	3	3	3	0	3
我慢できる	0	0	0	3	0
首から頭にかけて、凝ったように痛み	2	2	0	3	2
今まで経験したことがない強烈な痛み(最悪の頭痛)	0	0	0	0	3
だらだらと続く痛み	0	0	0	3	0
<b>頭痛と同時に起きる症状がありますか？</b>					
眼の充血	0	0	3	0	3
流涙	0	0	3	0	0
鼻水または鼻うっ血	0	0	3	0	0
額または顔の発汗	0	0	3	0	0
瞳孔縮小(縮瞳)	0	0	3	0	0
悪心	3	3	2	0	2
嘔吐 吐気	3	3	2	0	2
光恐怖症、音声恐怖症	3	3	0	2	2

## ●その他：尤度

症状の特徴の存在(LR+)や欠落(LR-)は鑑別に役立つ\*)

\*) Smetana GW. The diagnostic value of historical features in primary headache syndromes : A comprehensive review. Arch Intern Med. 160(18) 2729-2737 (2000)より

例)片頭痛症状の特徴

基準	LR+	LR-
吐き気	23.2	0.19
光過敏	6.0	0.24
音過敏	5.2	0.38
身体活動による憎悪	3.7	0.24
片側性	3.1	0.43
拍動性	3.3	0.32

### 解説



LR+3.1の場合、その特徴(片側性)は片頭痛の可能性が3.1倍になる。同様に、LR-が0.43の時、その特徴(片側性)がなければ片頭痛の可能性は半減する。

または

LR+が高値ほど片頭痛が考えられる

⇒症状で「吐き気」がある場合、片頭痛の可能性が高い

LR-が低値ほど片頭痛の可能性は低くなる

⇒症状で「吐き気」がない場合、片頭痛の可能性は低い

考える技術 臨床的思考を分析する:スコット・スターン他 著より

### まとめ

#### ■陽性尤度比 Likelihood ratio of a positive test (LR+)

疾患のある人において陽性結果が何倍得られ易いかを疾患の無い人に比較示す。

LR+ <<1 とはその疾患でないことを示唆(検査の場合、結果が陽性であればその疾患でないことを示唆)

#### ■陰性尤度比 Likelihood ratio of a negative test (LR-)

疾患の無い人において陰性結果が何倍得られ易いかを疾患の有る人に比較示す。

LR- >>1 とはその疾患であることを示唆(検査の場合、結果が陰性であればその疾患であることを示唆)

LR+が1より小さいまたはLR-が0.1以下→その疾患ではない

LR+が10以上またはLR-が1より大→その疾患である

大分類	小分類	問 診 項 目	症状(診断基準)	片頭痛 (前兆+)	片頭痛 (前兆-)	群発頭痛	緊張型 頭痛	受診動機			
質的な質問	発症新規性	この頭痛は過去の頭痛と同じですか？	過去に発症								
			新規に発症								
		他に病気がありますか？	yes								
		no									
	最初の 発症時期	こうした頭痛が起こり始めたのは 何歳くらいのころでしたか？	10代以下								
			10代								
			20代								
			30代								
			40代								
			50代								
			60代								
			70代以上								
		頭痛が起こる前に何か気づくことや 警告症状がありますか？	yes								
			no								
		どのような痛み方をしますか？	心臓の鼓動のようにズキンズキンとする								
			頭のまわりにベルトを巻いたような圧迫感や圧力がある								
			電気ショックのように刺すような、えぐられるような鋭い痛み								
			ひどくて何もできない								
			我慢できる								
			首から頭にかけて凝ったように痛み								
			今まで経験したことがない強烈な痛み(最悪の頭痛)								
			だらだらと続く痛み								
			不定								
			頭のどこが痛いですか？	どちらか一方だけが、痛む側が変わる							
				いつも同側							
	頭の両側										
	後ろ側										
目の周囲・目の奥が痛い											
額											
こめかみ											
頭部の後側											
頭頂部											
不定											
時間的経過	発症時	典型的な頭痛の発症について教えてください	瞬間的に起こり、最初の瞬間がひどい								
			5～10分間ですみやかに発症								
			最初の1時間前後に悪化								
			不定								
	持続性	1回の頭痛がどれくらい続きますか？	数時間～3日間								
			30分間～1週間								
			15分間～3時間								
			不定								
			秒単位								
		間欠的も持続性に移行									
	再発性	頭痛が再発する場合、どれ位の頻度で 発現しますか？	月1回～5回								
			週1回または2回								
			1日1回～8回								
			不定								
	発症タイミング	通常、何時ごろ頭痛が発現しますか？	朝目覚めた時								
			午後								
			週末								
			夜間								
			不定								
	程度の変化	痛みは変化しますか？	だんだんひどくなる								
			入浴するとひどくなる								
			リラックスした時								
			運動や走ったり階段の昇り降り等するとひどくなる								
			生理の間、または前後に痛くなる								
			一定の姿勢で作業を継続した時								
			頭痛があるときお酒を飲むと								
			運動行動に支障ができてくるか								
随伴症状	発症前の 警告症状	頭痛の前に警告症状がありますか？	両目の片側に約20分間ジグザグの点滅光								
			しどろもどろの話し方								
			顔または手の片側にしびれ感または刺痛感がある								
			体の片側に脱力								

大分類	小分類	問診項目	症状(診断基準)	片頭痛 (前兆+)	片頭痛 (前兆-)	群発頭痛	緊張型 頭痛	受診勧奨		
随伴症状		頭痛と同時に起きる症状がありますか？	眼の充血							
			流涙							
			鼻水または鼻うっ血							
			額または顔の発汗							
			眼瞼下垂(下垂症)							
			瞳孔縮小(縮瞳)							
			悪心							
			嘔吐 吐気							
			光恐怖症							
			音声恐怖症							
			その他の疾患と時期的に一致して頭痛が起こる							
		修飾因子 (頭痛の誘因)	修飾因子の内容	頭痛には特定の原因がありますか？	特定の食物(チョコレート・チーズ)					
					アルコール					
	月経									
	カフェイン離脱									
	階段を上がる、腰を曲げるなどの身体活動									
	頭および首を回す									
	突然の激しい頭痛									
	解熱薬を頻りに服用しているか									
	風邪症状に引き続いての鼻づまりを伴う頭痛									
	うつむき姿勢が続くと痛む									
	いきむと頭にガンガンと響く									
	耳の痛みを伴った頭痛									
	近親者に片頭痛の方がいますか？									
前兆期	神経面		うつ病							
			多幸、多動							
			被刺激性							
			情動不安							
			精神的緩徐、集注意力不足							
			疲労感、昏睡状態							
	一般的		項部硬直							
			寒気							
			脱力感							
			渴き							
			多尿症							
			食欲不振もしくは大食症							
			下痢もしくは便秘							
	体液貯留									
警告症状		常に重篤な原因を示唆する	視力喪失							
			平衡障害							
			錯乱または嗜眠							
			新規発症発作							
		常に重篤な原因を示唆する可能性がある	発熱							
			体重減少							
			悪性腫瘍の病歴							
			HIV感染の病歴							
			神経手術							
			眼痛							
			雷鳴頭痛							
			50歳以降に新規発症							
			数週間～数カ月にわたる進行性頭痛							
			複視							
			片側不全麻痺							
			失語症							
			睡眠を妨げる頭痛							
			仕事に悪化する頭痛							
			ヴァルサルヴァ手技で悪化する頭痛							
			中枢神経系シャントの病歴							
			頸部硬直							
			激しい活動							
			咳							
	性交									
神経や精神異常	ふらつく									
	めまい									
	目がぼやける(視力低下)									
	手足に力がはいらぬ(麻痺)									
	ぼやけた状態(痴呆)									
	けいれん									